

四條畷市教育委員会ニュース

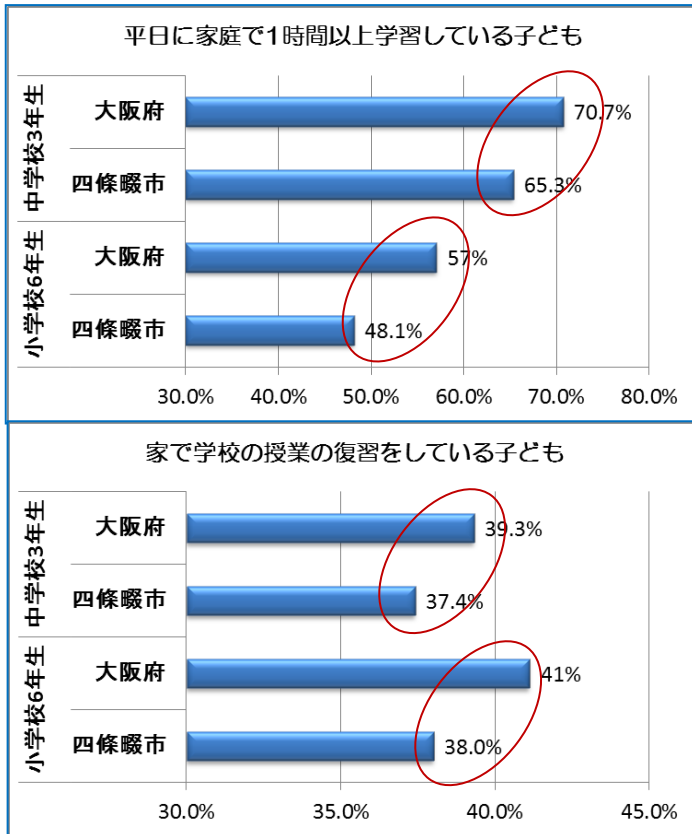
内容：

- ・家庭学習を考えよう
- ・今、学力向上対策プロジェクトチーム会議は
- ・摂津市の小中一貫教育から学ぼう

家庭学習について考えよう！



○家庭学習が定着している子どもは、正答率も高い



左の二つのグラフは、平成 23 年度に実施されました「大阪府学力・学習状況調査」の家庭学習の結果から作成しました。「平日に家庭で 1 時間以上学習している子どもは小学校 6 年生、中学校 3 年生ともに大阪府の平均より低い」「復習する習慣がついている子どもは小学校 6 年生、中学校 3 年生ともに大阪府の平均より低い」結果となっています。実は大阪府の平均値はご存じのように全国の平均値に比べ下位層にあり、全国結果と比較しても四條畷の家庭学習の定着において大きな課題があります。

家庭では、毎日決まった時間、学習する習慣をつけることが大切です。国語、算数、数学いずれも家での勉強時間をきちんととっている子どもほど、学力調査の正答率が高いという結果が出ています。

また、その日に習ったところを読み返したり、同じ問題をもう一度解いてみたり、ノートにまとめる等、学んだ内容を定着させるためには、自学自習としての復習が大事です。

○小学校 1 年生から家庭学習の時間を確保しましょう

家庭学習の第一歩は、小学校の低学年から毎日時間を決めて、宿題や自主学習をする習慣がつくようご家庭の協力が大切です。学校からは漢字や計算などの「練習」を中心にした宿題が出されます。最後まで毎日やりきることができるように声かけをしましょう。

家庭学習の習慣化を支援する一つの取組みとして、学校から出される宿題以外に、今年度小学校 1 年生～3 年生対象に市教育委員会から学習教材を一斉に無償配布いたしました。



学習教材「1 年～3 年 徹底反復 読み書き計算プリント」

もうすでにお子様通じて市教育委員会のお願ひプリントと学習教材「徹底反復 読み書き計算プリント」の配布も終わりました。

「宿題＋漢字の読み書き」、「宿題＋計算」などその日の家庭学習を工夫して取組んでいきましょう。この学習教材は、ドリル形式で学校の国語漢字、算数の進路状況に合わせて自由に選んで、何回も反復して活用するようになっています。家庭学習の習慣づけと、低学年からのつまずきを解消するため、家庭の繰り返し学習を推進し、自学自習の力を育成するため、可能な限り、出来たかどうかの点検をお願いします。もちろんできたらほめることも忘れずに！

○今、四條畷市学力向上対策プロジェクトチーム会議は



全体会議



小学校部会



中学校部会

今年度から子どもたちの確かな学力の定着や学びへの意欲の向上をめざして「四條畷市学力向上対策プロジェクトチーム会議」を設置し、四つの検討課題について調査・研究・計画に精力的に取り組んでいます。

四つの検討課題とは

- 1、授業力向上→授業力向上や授業改善を推進
- 2、小中一貫教育推進→すべての中学校区で小中一貫教育の推進
- 3、フォローアップ対策→学ぶ意欲を持たせる教育を推進
- 4、家庭学習・生活習慣対策→家庭学習の習慣化と地域連携を推進

会議構成メンバーは、市長部局、小中学校代表校長教頭、社会教育関係職員、各学校学力向上担当者、指導主事、学力向上対策コーディネーター、学識経験者（オブザーバー）からなり、学校や子どもたちの実情に合わせ今年度の具体的な取組みを推進してきました。

1、授業力向上について

各学校においては特色ある取組み実践、校内授業研究会、市全体では授業づくり教員研修会、教育フォーラムの実施などを計画しています。

2、小中一貫教育について

それぞれの中学校区ごとの実情に合わせ、今年度は交流と連携のあり方を深める取組みを計画しています。学校間の段差の解消、教員のいきいきスクール（乗り入れ授業）、9年間を見通した総合学習のカリキュラム作成、学力生活状況調査の合同分析会、行事交流などの計画が見込まれています。

3、フォローアップ対策について

6月から始まった土曜日フォローアップ教室や放課後、夏休みに子どもたちの学習意欲を向上させる自学自習の取組みを外部人材の学習

支援補助員や学生ボランティアの協力を得ながら始まりました。4、家庭学習・生活習慣対策については、前ページで紹介しました学習教材の無償配布や生活習慣の手引きづくりの検討も行っています。

○摂津市の小中一貫教育から学ぼう

6月27日（水）学力向上対策プロジェクトチームによる摂津市教育委員会訪研修会を実施しました。摂津市では、平成19年度から小中連携を基本とした教育改革を推進されてきました。



摂津市の小中一貫教育から学ぼう！



質疑応答で各校の課題解決策が！

「小中交流→小中連携」と研究も深められ、現在、「小中連携→小中一貫」へと発展されてきました。この間、「みんなの力で行きたくてたまらない学校の実現を！」めざして取り組んでこられた経緯について多くの学ぶべきことがありました。

小中学校間でそれぞれの教育課題解決に向け、垣根を取っ払って話し合う中で、共通することは「授業規律と授業改善」「生活規律」「家庭・地域との連携」などのテーマが中心になってきます。それらをもとに解決策を探る中、中学校区の一つの「めざす子ども像」が生まれてきます。

今後、四條畷市の小中一貫教育のあり方を考えるうえで、市全体および各中学校区ごとの具体的な方策が考えられ、有意義な研修会となりました。

